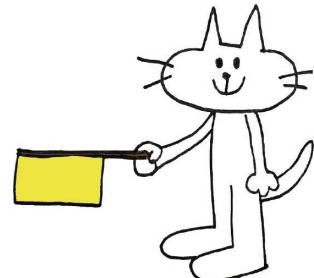




日頃は子どもたちの安心・安全な通学にのために、ご理解とご協力をいただきありがとうございます！
旗当番は、毎朝登校時に児童の交通誘導と見守りを行っていただく活動です。
旗当番をすることで、社会へ子どもたちの交通安全を周知し、
事故の予防に努めるという目的があります。

旗当番マニュアル



- もくじ
- 1 ... 表紙
 - 2 ... 旗当番の注意ポイント
 - 3 ... 場所・時間・持ち物
 - 4 ... 正門側
 - 5 ... 南門側

旗当番の注意ポイント

①子どもの飛び出しを防ぎましょう。

②自分自身と付き添いの児童の安全を守りましょう。

退避スペースを確保し、車から見える位置に立ちましょう。

③車が並んだり、児童がたまつてもあわてずに、**安全を第一**に考え方行動しましょう。

車両などの途切れ目をうまく捉えて、最も安全に横断させることに重点をおいて実施します。

④旗の合図は大きくはっきりと行いましょう。

⑤青の点滅信号や、黄色の信号では児童が横断しないよう注意しましょう。

⑥子どももドライバーも同じ道路を通行するものとして、お互いの立場を理解しましょう。

旗当番には車を止める強制力はありません、出勤時間、時間に余裕の無い方や急いでいる方もいるということを念頭において活動しましょう。

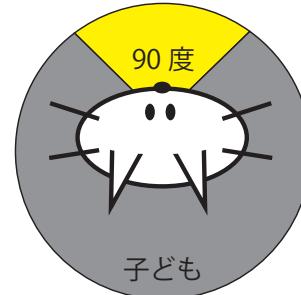
知ってほしい！ 子どもの特性について

子どもは水平・垂直ともに大人よりも視野が狭く、視線の高さも低いです。

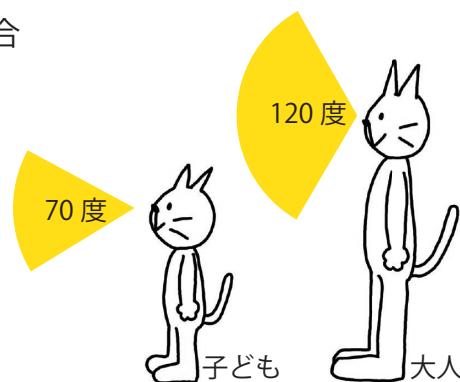
大人から見えている危険が子どもには見えないことがあります。

また、危機に面したときの回避能力は、大人が思っているほど発達していません。

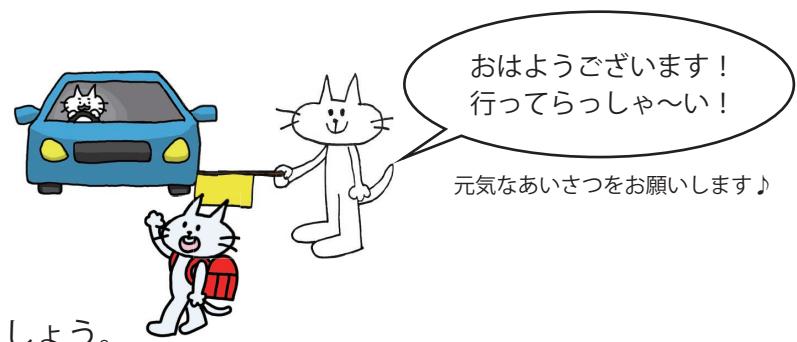
水平の場合



垂直の場合



子どもと大人では見えているものが違います。車も道路も見えていないかもしれません。



旗当番の場所

正門側 3か所(★1～3)

南門側 1か所(★4)

時間

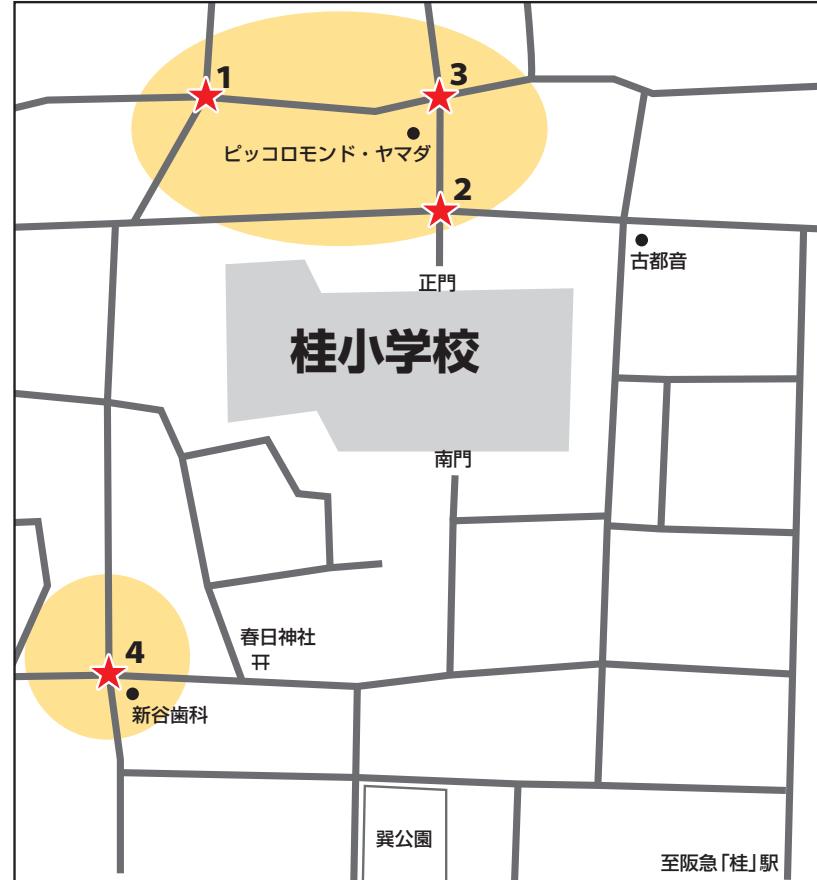
7：55～8：15 (1学期のみ)

7：55～8：10 (2学期・3学期のみ)

持ち物

・保護者名札

(旗は各場所の旗ポストにあります)



旗当番表に記載された位置に立ち、終了時間が過ぎた後はそのままお帰りいただいて結構です。

正門★1のポイントは一番早く児童が通過します。特に遅れないようにご注意ください。

場所の変更は当事者間でご相談下さい。

・旗当番の持ち物は保護者名札のみです。旗当番中は保護者名札の着用をお願いします。

・旗は各担当場所に設置してある旗ポストのものを使用して下さい。

・児童や未就学児を同伴する場合は安全に配慮して行動して下さい。

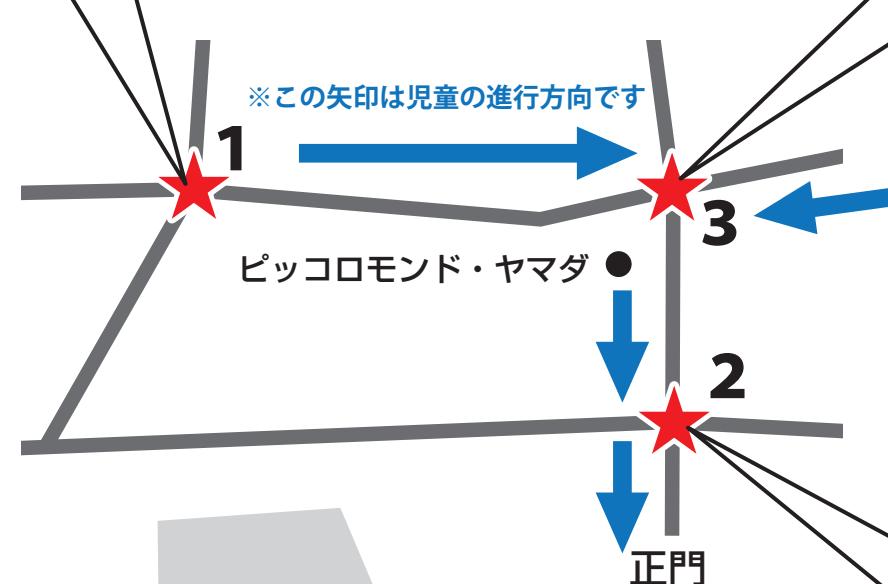
同伴する児童は自分の班が通るときに合流して登校するか、旗当番終了後に保護者が学校まで送って下さい。

なお、旗当番に児童が保護者と一緒に行くときは、必ず班長や登校班のメンバーに事前報告をしてください。

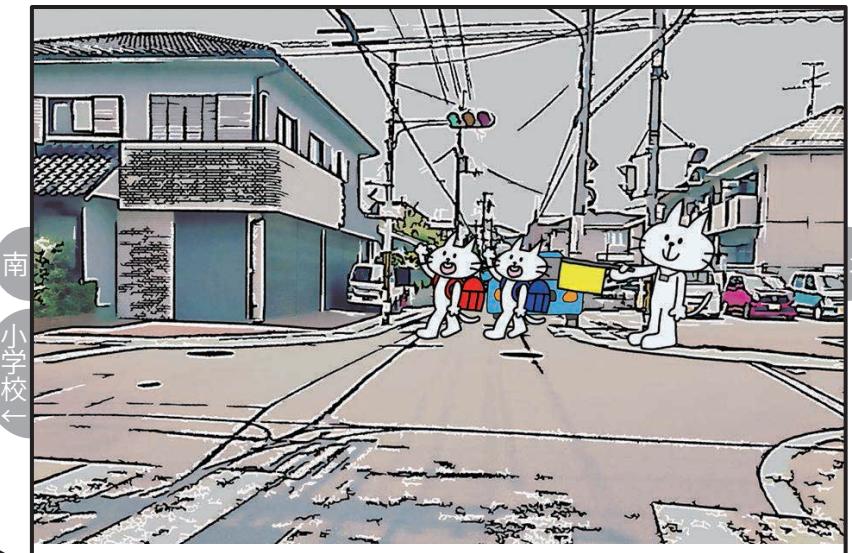
正門側



南側からの方通行で交通量が多い場所です。
図の立ち位置で、道路に面して立ち、
子どもたちが安全に渡れるよう、誘導します。



図の立ち位置で道路に面して立ち、東側と西側から来る
登校班の誘導と、東側から信号のない横断歩道を
渡ってくる登校班の誘導をします。



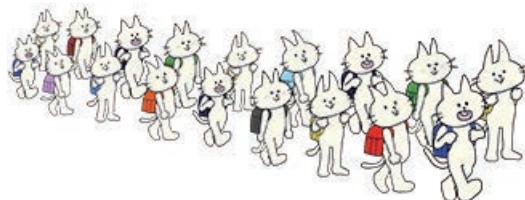
図の位置に立ち、横断歩道を渡る子どもたちの誘導を
します。登校班が一度に何組も集まり、列が乱れ
車道側に膨らまないよう注意してください。

南門側



野原診療所と新谷歯科のある十字路は右折車・左折車も多く交通量が多い場所になります。図の位置に立ち、横断歩道を渡る児童を挟むようにして2人1組での誘導をお願いします。

※登校班が一度に何組も集まり長蛇の列になることもあります。その時は児童に止まるように指示し、車両に運行の指示を出し、譲り合いながら安全に活動して下さい。



ポイント!

車が横断中は横断旗を児童の前に水平に上げて止まるように指示し、車の流れが途切れたら横断旗を車両側に水平に上げて児童が横断するように誘導します。

